

# サクランボ特報

No. 3

令和6年5月1日  
JA中野市営農センター  
JA中野市サクランボ部会

開花日(平岡)4/16 平年より2日早く推移しています。満開日(平岡)4/22で平年より1日早く生育が平年より2日程進んでいる状況です。防除は予防を意識し、定期防除・管理作業は遅れないよう計画的に実施しましょう。また、乾燥状態が続く場合は、灌水を実施しましょう。

## 第4回 定期散布 (落花後の散布は、特報No.2をご確認下さい)

灰星病、炭そ病、黒斑病、褐色せん孔病、幼果菌核病、オウトウショウジョウバエ、カメムシ類

散布時期	・5月15日～5月21日 (第3回定期散布から14日後)	
散布薬剤	水 100ℓ当り	【定期散布】散布日 ____月 ____日(____) 散布量 _____ℓ
	アーデントフロアブル	25mℓ (収穫前日まで、3回)
	ナリアWDG	50g (収穫前日まで、3回)
散布量	10aあたり 500ℓ	
注意事項	①今回から収穫終了後まで展着剤は使用しない。 ②オウトウショウジョウバエ(カメムシ類)発生園はアーデントフロアブルに代えて劇バيسロイドEWの4,000倍(7日前、2回)を使用する。(果実汚染注意する。) ③ナリアWDGは、ぶどう(ピオーネ)、洋なし(ル・レクチェ)等に薬害が生じるので、飛散しないようにする。	

### ●摘果

- ① 時期：生理落果終了後。大豆大の頃。(高砂・香夏錦・紅秀峰など)
- ② 方法：1花束状短果枝当り3～4果を残す。残す果実は、縦長で肥大良好な果実、果柄が長い果実。
- ③ 注意：結実過多の樹を実施する。花器異常により、着果不足が心配される場合は、摘果を見合わせ、樹全体で着果量を確保する。  
樹全体で着果量を確保する。

次面も必ずご覧ください

## ●かん水

- ① 時期：落花直後の肥大初期。20<sup>ミ</sup>程度。
- ② 注意：果実の地色が抜け始めると裂果の恐れがあるため、かん水量を控えめにする。結実量が少ない樹や強樹勢の場合は、裂果しやすいため、かん水量を控えめにする。

## ●新梢管理

- ① 時期：満開後3～4週間頃。（5月中旬）
- ② 方法：5～6芽程度残して摘芯する。（葉枚数で4～5枚）

## ●葉面散布について

樹勢衰弱や葉色が薄い場合は、葉面散布を実施し、健全な葉の育成と光合成、初期肥大促進に努めましょう。

\*葉面散布使用例・・・定期散布時に農薬と混用が可能です。（混用は最後です）

資材名	成分量	目的	倍率	使用時期	規格、単価	1000 散布 単価
オルガミン	窒素 0.11% 苦土 4% ほう素 0.7% 加里 0.11% マンガン 0.25%	光合成促進 品質向上	1,000 倍	第3～4回目の 定期散布時に混用	10 4,100 円 50 17,600 円 100 32,800 円	410 円 352 円 328 円
ビビットグリーン	苦土 4%	苦土補給 葉の健全化 光合成促進	500 倍	第3～4回目の 定期散布時に混用	1.2kg 1,560 円 5kg 4,900 円	260 円 196 円
液肥硫酸マンガン	マンガン 13.5%	マンガン補給	200 倍	第3～4回目の 定期散布時に混用	1kg 1,160 円	580 円
グリーンデイズ	苦土 16% マンガン 9.0% ほう素 2.5%	苦土等補給 葉の健全化 品質向上他	1,000 倍	第3～4回目の 定期散布時に混用	1kg 1,560 円	156 円
ビビットレッド	リン酸 9% 加里 7%	果実品質向上	500 倍	第4～5回目の 定期散布時に混用	1.2kg 1,430 円 5kg 4,350 円	256 円 192 円

問合先：園芸課・担当 横田（080-5147-8257）